

阪南大学 災害時行動マニュアル

学内で地震が起きたら



「落ちてこない」「倒れてこない」
「移動してこない」場所へ身を寄せる

屋内にいる場合は可能であれば、廊下や屋外に出てください。

屋外にいる場合は建物から離れた広い場所(グラウンド・中庭)に移動してください。

揺れている間は、カバンや本等で(何も無い場合は手で)頭を覆い、できるだけ低い姿勢をとってください。

阪南大学 屋外避難場所

本キャンパス	第1グラウンド (50周年記念館横の人工芝)
--------	---------------------------

避難時の心得
“押さない、走らない、しゃべらない、戻らない”

周囲の安全を確認！
屋外避難場所へ冷静に避難する

避難時は、マスクを着用してください。

●教室・図書館・廊下・階段

教職員の指示や放送に従って、落下物・散乱物に注意し、落ち着いて避難してください。

●エレベーター

エレベーターを降り、教職員の指示や放送に従って、階段で避難してください。

●建物のそば・食堂

落下物・散乱物に注意し、指定の避難場所へ移動してください。



火災が起きたら

「火事だ！」とまわりの人に大声や火災報知器で知らせ、119番(消防署)へ通報してください。

●すばやく初期消火

廊下に置いている消火器で消火してください。炎が人の身長の高さに達してしまったら、消火を諦めてすぐに避難しましょう。

●火が迫っているときは

マスク、ハンカチなどで口や鼻をおおい、煙を吸い込まないよう姿勢を低くして逃げましょう。

家族と大学へ安否連絡

●家族への安否確認

大災害発生時は、安否確認、見舞、問合せなどの電話が増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続くことが予想されます。LINEなどのSNSや災害用伝言ダイヤル(171)、災害用伝言板(web171)を利用して、家族に安否を伝えましょう。
【利用方法は、裏面に記載】

●大学での安否確認

下記の屋外避難場所への避難終了後は、安否確認を行うので、教職員の指示にしたがって報告を行ってください。

●帰宅判断※

自宅までの距離、交通機関の運行状況、自身の体力・体調をみて、帰宅可能かどうかを判断しましょう。帰宅が困難な場合や日没・夜間は、危険防止のため、学内の安全な場所に留まりましょう。

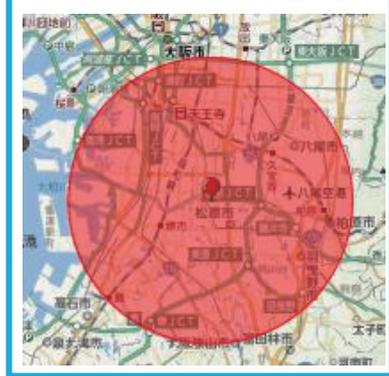
●待機指示

大学が大学周辺の状況をみて、帰宅が困難・危険と判断した場合は、大学内での待機を指示します。

大学からの安否確認
大地震等の大規模災害が発生した場合は、大学から阪南UNIPAで学生の安否確認を行います。連絡が可能な状態になりしだい、阪南INIPAから安否確認の連絡をしてください。

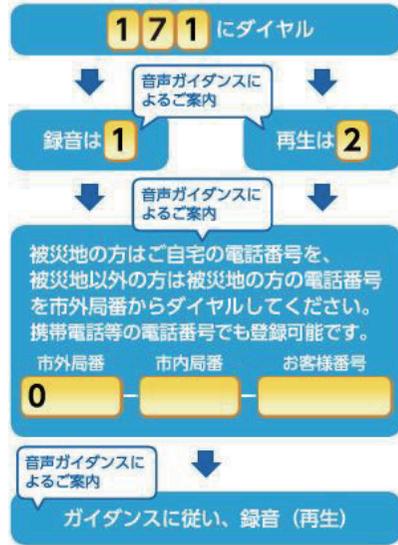
※帰宅可能距離

交通機関が運行不可の場合は、徒歩での帰宅になります。災害時の歩行速度は約2.5km/時(国交省調査)とされています。これは10kmの距離は4時間、20kmの距離は8時間かかる計算になります。なお、徒歩で帰宅可能な距離は、体力がある20代男性でも20km以内とされています。現実的に徒歩で帰宅可能な距離は、10km圏内と考えてください。
【本キャンパスから半径10km圏内図】



デマに惑わされない！
SNSは、リアルタイムの情報が手に入るなど便利な一方、偽情報が含まれることもあります。災害時は信頼できる情報源(テレビ、ラジオ、政府・自治体ホームページ等)から情報を得るようにしましょう。

NTT西日本災害用伝言ダイヤル



NTT西日本災害用伝言板

震度6弱以上の地震等の大規模災害時に利用できるようになります。



※確認時に他社の伝言板に伝言がある場合はリンクが表示されます。

災害用音声お届けサービス

専用アプリケーションをインストールしたスマートフォン等の対応端末から、音声メッセージを送信することができるサービスです。異なる通信事業者間でも音声メッセージの送付が可能です。

スマートフォンは、以下のアプリケーションを各社のアプリマーケットやGoogle Play、Apple Storeからダウンロードしてください。

docomo	「災害用キット」
au	「au災害対策」
SoftBank	「災害用伝言板」
Y! mobile	「災害用伝言板」

集中豪雨・洪水



- 「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合、大学が判断して学生に帰宅指示を行います。
- 帰宅指示が出た場合、避難指示があるまで、教室内で待機してください。
- 帰宅困難な場合は、大学の校舎内に留まりましょう。この場合は、大学の指示に従ってください。

本キャンパスは、大和川が氾濫した場合、最大3～5mの浸水が起ると予想されています。万一、大和川の堤防が決壊してキャンパスが浸水した場合は、教職員の指示に従い、建物の2階以上に避難しましょう。

避難経路図（本キャンパス）

